

「山科区シンボルマーク」のモニュメントが完成



除幕式の様子

昨年、山科区誕生30周年を記念して、水と緑と歴史に彩られたまち山科区をイメージした「山科区シンボルマーク」を作成しました。

5月7日、京都醍醐ライオンズクラブからクラブ結成30周年を祝して、シンボルマークのモニュメントが贈呈され、区役所前広場で除幕式が行われました。

区役所にお越しの際は、ぜひご覧ください。



モニュメント

第31回山科区民壮年ソフトボール大会 優勝は音羽体育振興会チーム



5月13日に勧修寺公園グラウンドで開催された区民壮年ソフトボール大会は、12学区の体育振興会チームが出場し、多くの声援の中、熱戦が繰り広げられました。

優勝 音羽体育振興会チーム
準優勝 大宅体育振興会チーム
三位 小野体育振興会チーム
三位 山階体育振興会チーム

猿の出没にご注意を

例年、今頃になると、山科区の北部の山際付近を中心にニホンサル（ニホンザル）の群れが出没し、畑や家庭菜園などを荒らしたり、人をおどしたりする被害が発生しています。

山科区では、サルの被害を未然に防ぎ、区民の皆さんの安全で安心な生活を守るため、住民の皆さんと行政の協働による山科区猿害対策チームを結成し、みんなで力を合わせてサルを山へ追い返す活動等に取り組んでいます。

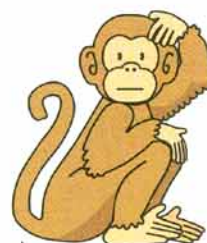
サルの被害を防ぐには次の点に注意して行動してください。

◆サルの出没に備えて…

- ・餌になる農作物や生ごみを放置しないようにしましょう。
- ・家庭菜園をネットや柵等で防御しましょう。
- ・各学区の山科区猿害対策チームを中心に、事前に対応を話し合っておきましょう。

◆サルを見たら…

- ・絶対に食べ物を与えないようにしましょう。
- ・山科区猿害対策チームに連絡し、山際に追い払いましょう。
- ・家の中への侵入を防ぐため、窓やドアをしっかりと閉めましょう。
- ・携帯電話やカメラで撮影をしないようにしましょう（サルは攻撃されるものと勘違いし、逆に襲いかかる場合があります）。
- ・サルと目を合わさず、特に高齢者や子ども、女性は、襲われないよう注意をしましょう。



山科区猿害対策チームの連絡先は各学区（音羽、安土、陵ヶ岡、鏡山、百々、小野）の自治連合会役員まで。

問合せ先 区まちづくり推進課（電話592-3088）

学区探訪 中学生編

驚きMAX マックス



愛しき 山科よ

今回は山階南学区の三ノ宮神社と表徳碑について、山科の歴史を知る会長山本正明さんに、音羽中学校の浅本麻友さん、竹谷綾乃さん、藪下侑美さんが取材しました（3人は今春卒業されました）。

☆三ノ宮神社について☆

室町時代、山科は七つの村（山科七郷）に分かれていて、それぞれが三ノ宮神社などに集まり、山科をよりよくするための寄合を開いていたそうだ。私たちは遠い昔からみんなで話し合いながらまちづくりを行っていたことにすごいと思った。

また、三ノ宮神社には区民誇りの木が「ケヤキ」「エノキ」「クスノキ」と三本もあるほか、昔からの竹藪も残っている。山本さんは「環境保護のためにも、神聖な鎮守の森を残していくべきだ」とお



三ノ宮神社

っしゃっていた。私たちは、歴史だけでなく、過去から伝わる身近な自然を未来に伝えなければならなかった。

☆表徳碑について☆

昔から交通の要衝であった山科には、京の都に物を運んでいた牛馬などがたくさん飼われていて、それらの牛馬が老後を過ごすため広大な放牧場が三ノ宮神社から東野保育園にかけてあったそうだ。それを記念し、東野保育園前に石碑が建っている。明治21年に建てられた「表徳碑」は、老牛馬をあわれんで放牧場をつくり、また村のために努力された熊谷蓮心翁に感謝するための言葉が刻まれていた。私たちは、老いた牛馬も大切に山科の人たちの愛情を感じた。



表徳碑



左から藪下さん、浅本さん、山本さん、竹谷さん

☆学区探訪を振り返って☆

今回で学区探訪の取材は最後であるが、私たちは、この学区探訪を通して新しい発見がたくさんあり、多くの方と出会うことができました。

山本さんは今回の取材で「身近なところにたくさんの興味深いものがある」とおっしゃっていた。本当にそうだと思う。

これからも、身近なことにどんどん興味を持っていきたいと思った。

色々な分野で活躍していた人に、また活躍している人がいる山科区に、驚きMAXだった。